

受理第4-6号

請 願 書

件 名

誰もが安心して子どもを産み・育てられるよう宇治市の保育充実を求める請願

紹介議員

徳永 未来、宮本 繁夫、山崎 恭一、坂本 優子、

渡辺 俊三、山崎 匡、大河 直幸、佐々木真由美

請願の趣旨

私たち宇治保育運動連絡会は誰もが安心して子どもを産み、育てられる宇治市の豊かな子育て環境の充実を願う団体（宇治市保育所保護者会連合会、全国福祉保育労働組合洛南支部、宇治市保育所パート保母労働組合、宇治市職員労働組合保育所分会協議会）の連絡会です。

政府は2023年度から子どもや若者が自分らしく成長できる社会を目指して「こども家庭庁」を創設することを決定しています。この「こどもまんなか」社会では子ども関連施策の推進を図るとされており、より一層保育施設の役割が注目されるであろうことは間違いありません。2013年から始まった保育士処遇改善などで保育士の賃金は不十分ながら改善されてきましたが、現在も全国的に慢性的保育士不足であるということからわかるように抜本的な処遇の改善には到っていません。また保育士配置基準については長年改善されず低水準のままです。今後も続くであろう新型コロナウイルス感染対策をしながらの保育の中で子どもたちの成長を支えるためにも保育所などの環境やそこで働く職員の労働条件を改善していくことが「こどもまんなか」社会において必要であると考えます。

今、宇治市では西小倉地域の小中学校統廃合問題、幼稚園統合問題、中学校給食実施にかかった小学校給食センターへの移行など、子どもをめぐる環境の問題が多くあります。これらは私たち保育に関わるものにとっても目の離せない問題です。誰もが安心して子どもを産み育てられるような宇治市へ。自治体の責任で豊かな子育て環境の充実が実現できるよう以下の項目について請願致します。

請願項目

- 1 すべての子どもの保育料を無償にするとともに、給食費など保育に必要な費用も無償にしてください
- 2 保育所、保育園の保育士配置基準を早急に見直し改善してください。
- 3 市の責任のもと、保育士の処遇改善と保育士確保をして子どもたちを安心して預けられる環境を整えてください。
- 4 民間保育園の保育環境充実のために補助金を増額してください。
- 5 公立幼稚園の廃止や公立保育所の民営化、幼保連携型認定子ども園への意図的な移行はしないでください
- 6 しょうがい児保育は子どもの権利、発達保障の立場から現行水準を維持、拡充してください。
- 7 保育所で働く職員が公費で定期的にPCR検査を受けられるようにしてください。

2022年11月30日

宇治市議会 議長

堀 明人様あて

請願者住所

名前

小林 雅美